愛の園児童発達支援センター

こども発達支援センターエール緑が丘
放課後等デイサービスオリーブ緑が丘

2027年度 利用児童募集要項





インクルーシブな子育てを応援する

社会福祉法人愛の園福祉会

法人の基本理念
「もっとも小さな者のひとりに仕える」
すべての子どもの「未知なる可能性」の開花に向けて

すべてのこどもたちの権利と生命　人間の尊厳のために
利用されるすべての人たちのために　地域社会とともに
今できる最高のものをもって未来を拓く

職員行動指針

- **わたしたちはこども一人ひとりの権利と命と尊厳を守ります。**
- **わたしたちはサービスを必要とするすべての人々に、誠実に献身的に仕え、その自立に向けて支援します。**
- **わたしたちは「幼児教育、保育、発達支援、子育て支援」を通して地域社会に貢献し、地域の人々との絆を育みます。**
- **わたしたちは先駆的・開拓的精神をもって新たなニーズの発見に努め常に解決に向けて挑戦します。**
- **わたしたちは一人ひとりが専門職として倫理観と誇りを持って最高のサービス提供に努めます。**

■保育と療育の連携、インクルージョンの推進

愛の園福祉会の発達支援事業は、50数年にわたる保育事業で追求してきた「すべての子どもの未知なる可能性の開花」という理念から、「すべての子ども」が誰を指すのかという問いに端を発しています。近年、発達に課題を抱える子どもが増加傾向にありますが、彼らにもまた未知なる可能性が秘められています。

多様な子どもの育ちを支えるためには、こども園や保育園だけでは難しい専門的な療育と、児童発達支援事業が目指すバランスの取れた療育が連携協力することが不可欠です。多様性を認め合い、共に生きる社会の実現が求められる一方で、発達の課題を持つ子どもが集団生活を送る中で生きづらさを感じていても、なかなか発達支援に繋がらないケースや、こども園・保育園に加配職員がいても専門的な対応が難しい現状があります。愛の園福祉会では、こども園・保育園が併設の児童発達支援事業と連携し、保育と療育の専門家が子どもの状況を共有することで、より良いインクルーシブな保育と療育の連携実現を目指しています。

■施設概要

施設種別：規模別多機能型児童発達支援センター
名　　称：愛の園児童発達支援センター
こども発達支援センター エール緑が丘
放課後等デイサービス オリーブ緑が丘
保育所等訪問支援事業 りんごの木
こども発達支援相談事業所 ぶどうの木
特定相談支援事業所 ぶどうの実
所 在 地 ：〒276-0040 八千代市緑が丘西 1丁目10番-5
TEL：047-409-3985　FAX：047-409-3955

	こども発達支援センター エール緑が丘	放課後等デイサービス オリーブ緑が丘
定　員	30名 医療的ケア児・重症心身障がい児5名程度を含む	20名 医療的ケア児・重症心身障がい児5名程度を含む
対　象	就学前の幼児	小学1年生から6年生までの児童
費　用	所得に応じて利用料が決定されます。 ・費用上限や減免の対象となる場合があります。 ・3歳以上児は利用者負担無償化対象となります。 ・利用料の他に1日利用の場合、給食費等実費分をお支払いいただきます。	所得に応じて利用料が決定されます。 ・費用上限や減免の対象となる場合があります。 ・利用料の他に長期休業や学校休校日の場合、給食費やおやつ代、社会科見学等実施寺の交通費等に係る費用をお支払いいただきます。
併設事業	保育所等訪問支援事業りんごの木 こども発達支援相談事業所ぶどうの木／特定相談支援事業所ぶどうの実	
サービス提供日及び時間	月曜日から金曜日 9時30分から16時まで ・祭日及び振替休日を除く	月曜日から金曜日　下校から17時30分まで 土曜日・長期休業期間　10時から16時まで ・祭日及び振替休日を除く
送迎エリア	・みどりが丘小学校区、新木戸小学校区、高津小学校区、西高津小学校区、南高津小学校区エリアを中心に送迎を予定しています。保護者が送迎できる場合は、他の小学校区にお住まいの方もご利用できますのでご相談ください。 ・緑が丘こひつじ保育園に通われるお子さんの自宅送迎はありません。 ・市内保育施設に通われているお子さんは、各保育施設へ送迎に伺います。 ・医療的ケア対応や重症心身障がいをお持ちのお子さんについては、個別に調整の上、利用および送迎時間を決定します。	
職員配置	管理者、児童発達支援管理責任者、公認心理師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士、児童指導員、栄養士、運転手、事務職員	

こども発達支援センター エール緑が丘



■支援方針

01食事・排泄・着替え等生活に必要な力
02遊びを通して人と関わることへの興味関心
03自らやってみようとする意欲
04見て聞いて・触れて・感じる、 その子の感覚を大切に、豊かなことばやその土台となる力
05集団の中で必要なきまりを身に付け、 生活できる力を育んでいきます。

■こども発達支援センターエール緑が丘　発達支援の5領域

1健康・生活（基本的生活習慣の形成）

基本的な生活スキルは、こどもの自立を支え、家庭や社会での適応力を高めます。

○着替え、食事、排泄、睡眠など視覚支援ツールを用いて練習する。
○おままごと等のやり取り遊びや絵本を用いて基本的な生活スキルを学ぶ。
○視覚支援ツールを用いる等、児童に合わせた方法でわかりやすく伝える。
○実際の生活場面に合わせて練習する。

2人間関係・社会性（集団生活への適応）

自分や他者の感情を理解する能力は、健全な関係を 築くうえで最も大切なことです。ストレス管理や自己コントロール能力は、適応行動の発達に重要です。

○感情カードや絵本などを使い、気持ちを表現する力を身に付ける。
○SSTプログラムを取り入れ、他者との関係において必要なスキルを身に付ける。
○外遊びの中で自然と接しながらルール遊びを行い、協調性や他者理解、思いやりを身に付ける

3運動・感覚(身体機能・運動能力の向上)

運動能力は、自己の身体感覚を通じて、環境とかかわり、社会的・認知的能力を発達させる土台となります。特に感覚統合は他領域の基礎となります。

○粗大運動：特に固有受容覚や前庭覚の発達を促すため、トランポリンやサーキットなどバランス運動で体幹を鍛える。
○しっぽ取りゲームやボールキャッチなどで、 協調運動遊びをする。
○微細運動：ビーズ通しや折り紙で手指の巧緻性を高める

4認知・行動(認知機能・学習能力の向上)

認知能力は、問題解決能力や社会的理解をはぐくむ基盤となります。記憶や注意力が向上することで、学習能力が強化されます。

○図形パズルや神経衰弱遊び。
「見る・聞く・触る」「色・形・数」等を意識した遊び。
○天気、日付の把握と確認による感覚数の認知形成。
○ビジョントレーニング視覚認知を高めることにより、 注意力・集中力を高める。

5言語コミュニケーション(コミュニケーション能力の向上)

遊びや他者との関わりの中で、言葉の理解と表現を学びます。

○質問に答える練習や言葉で気持ちを伝える練習。
(非言語コミュニケーションの方法の活用。)

○動作と言葉のマッチング、実体験と言葉のマッチングにより言葉との意味を結びつける。

○絵本を読み聞かせ、共同注視を促す。

■ こども発達支援センターエール緑が丘の1日の流れ

緑が丘こひつじ保育園 および市内保育施設 在籍児童		未就園児童 (1日利用)	
09:30	登所 はじまりの会 療育支援 自由遊び 昼食 おかえりの会	09:30	登所 はじまりの会 療育支援 自由遊び 昼食
12:30		12:30	
14:00	登所 はじまりの会 療育支援 自由遊び 昼食		休息／午睡 療育支援 おやつ 自由遊び おかえりの会
16:00	おかえりの会	14:30	

＊1日利用の方対象に、基本の提供時間（9:30～14:30）に加えて、保護者の皆様のお仕事やご家庭のご都合等に応じた「延長支援」を実施しております。ご利用をご希望の方はご相談ください。

のびのび遊べる人工芝の園庭



遊戯室の大型ネット遊具



放課後等デイサービス オリーブ緑が丘



■支援方針

01食事・排泄・着替え等生活に必要な力
02遊びを通して人と関わることへの興味関心
03自らやってみようとする意欲
04見て聞いて・触れて・感じる、 その子の感覚を大切に、豊かなことばやその土台となる力
05集団の中で必要なきまりを身に付け、 生活できる力を育んでいきます。

■主な行事等

新入生歓迎会、季節の行事、課外活動、地域行事参加(工場見学・博物館見学・映画鑑賞等)、卒業生を送る会

■こども発達支援オリーブ緑が丘：『好き』から伸ばす5つのチカラ

私たちは、お子さま一人ひとりの「好き」や「楽しい」という気持ちを大切にしながら、以下の5つの領域における成長をサポートします。

1 生活スキル：『自分でできた！』を増やす

日々の生活で必要な「自分でやる力」を育むことは、お子さまの自信と自立に繋がります。ご家庭や社会で、自分らしく過ごすための土台を築きます。

○やってみよう！ 着替え、食事、排泄、睡眠などの生活習慣を、イラストや写真を使った分かりやすいツールで応援します。
○伝わる工夫！ お子さま一人ひとりのペースや分かり方に合わせて、見てすぐに理解できる方法で伝えます。

2コミュニケーション：『ともだちと一緒は楽しい！』を育む

自分や相手の気持ちを大切にできる力は、豊かな人間関係の第一歩です。集団生活の中で、気持ちをコントロールしたり、お友達と上手に付き合ったりするスキルを養います。

○気持ちを伝えよう！ 感情を表すカードや絵本を使って、「うれしい」「かなしい」などの気持ちを言葉にする練習をします。
○仲良しスキル！ SST（ソーシャルスキルトレーニング）を取り入れ、お友達との関わり方をロールプレイングなどで楽しく学びます。

3 運動・感覚：『からだを動かすって楽しい！』を実感する

体をたくさん動かすことは、心と体の成長に欠かせません。様々な感覚を使いながら、自分の体を上手にコントロールする力を育てます。

○トランポリンやマット運動など、バランス感覚を養う遊びで、体の軸をしっかりります。
○指先を使おう！ ビーズ通しや折り紙、粘土など、手や指先を細かく使う遊びで、集中力や器用さを養います。

4 認知・学習：『わかった！』『ひらめいた！』を引き出す

「なぜだろう？」と考える力や「やってみよう！」と挑戦する気持ちは、学ぶことの楽しさに繋がります。遊びを通して、集中力や記憶力、問題解決能力を伸ばします。

○遊びで脳トレ！ 図形パズルや神経衰弱など、「見る・聞く・触る」といった感覚をフルに使う遊びを楽しみます。

○見る力をアップ！ ビジョントレーニングを通して、目で見た情報を正しく理解し集中して物事に取り組む力を高めます。

5ことば：『伝えたい！』『聞きたい！』気持ちを育てる

遊びや人との関わりは、言葉を学ぶ絶好の機会です。「話したい」「聞きたい」という気持ちを大切に、豊かなコミュニケーション能力を育みます。

○話す・聞く練習！ スタッフとの会話やゲームの中で、質問に答えたり、自分の気持ちを言葉で伝えたりする練習をします。

○ことばと体験を結びつける！ 「ジャンプ！」「パクパク」など、動きや体験とことばをセットで学び、言葉の理解を深めます。

■放課後等デイサービスオリーブ緑が丘の1日の流れ

平日

10:00	各学校
12:00	
15:00	下校時間に 各学校へお迎え
	宿題等
16:00	療育支援
	余暇活動
17:30	送迎

**土曜・学校振替日
・長期休業日**

10:00	送迎
	療育支援
	自由あそび
	アクティビティ
12:00	昼食／休息
	療育支援
15:00	自由あそび
	アクティビティ
16:00	送迎



モンテッソーリ教具を揃えた指導室



スヌーズレンルーム

施設利用申込みについて

申込条件

（１）利用開始時点で八千代市に在住、且つ、住民登録があること。
※近隣市にお住まいの方はご相談ください。

（２）エール緑が丘または、オリーブ緑が丘の利用を保護者が希望しており、以下のいずれかに該当すること。

①療育機関等で発達相談や発達検査を受け、児童発達支援の利用を案内されている。

②概ね1年以内に療育機関等で発達検査を受け、児童発達支援の利用を勧められている。

③医療機関で障害の診断を受け、児童発達支援の利用を勧められている。

④障害児通所受給者証の交付を受け、現在、他の療育機関を利用している。

事前相談（相談必須）

（１）利用申込前にお子さまの様子を伺います。事前相談は予約が必要ですのでセンターまでご連絡をお願いします。
また、新規にご相談される方は「母子健康手帳」をお持ちください。あわせて下記の書類にご記入の上お持ちください。（各様式はホームページよりダウンロード可能です。）

①事前記入票（様式1)
②事前記入票2（2歳児以下のお子さん用）（様式2）
③事前記入票2（3歳児（年少）以上のお子さん用）（様式3）
④事前記入票2（小学生のお子さん用）（様式4）
⑤事前記入票3（様式5）

（２）下記書類をお持ちの場合には、事前相談時にご持参ください。
○発達検査結果報告書（既に結果報告書をお持ちの方、１年以内のもの）
○医療機関等からの紹介状や診断書
○通所受給者証
○身体障害者手帳
○療育手帳

申込み期間

○2026年10月1日（木）～12月15日（火）（土・日・祝日を除く）

＊定員に空きがある場合には、申し込み期間終了後も受付を行います。

申込み時に必要なもの

利用申し込みにあたり下記の書類にご記入の上お持ちください。

（各様式はホームページよりダウンロード可能です。）

①施設利用申請書（様式6）

②個人情報の取扱いに関する同意書（様式7）

申込み窓口

愛の園児童発達支援センター（八千代市緑が丘西1-10-5 電話043-409-3985）

※１ 窓口の受付時間は午前10時から午後4時までです。（土曜日・日曜日・祝日は受付を行なっておりません。）

※２ 郵送も受付ます。郵便事故については、当施設では責任を負いかねますの でご了承ください。（ご心配な方は、書留や特定記録郵便等をご利用ください。）

問い合わせ先

愛の園児童発達支援センター

こども発達支援センターエール緑が丘・放課後等デイサービスオリーブ緑が丘

電話 047-409-3985　　メール ailes_olive.midorigaoka@ainosono.or.jp

■愛の園児童発達支援センターフォトギャラリー



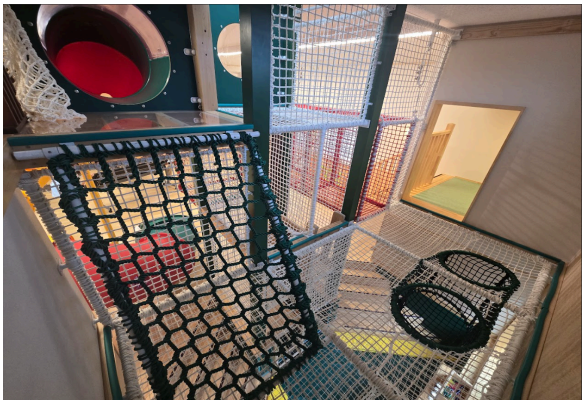
シンボルツリーと築山のある人工芝の園庭

指導室・屋内遊戯室（大型ネット遊具・壁面遊具）









スヌーズレン

光・音などで感覚を優しく刺激する空間の中で、深いリラックスや楽しみを体験することができます。





オミビスタ

テーブルや床に音と動きのある映像を投影し、利用者の触覚や聴覚を刺激することで、リハビリやレクレーションを能動的に行え、認知機能、協調性、社会性を養うことにもつながります。





その他の設備

愛の園児童発達支援センターは、すべての指導室にサーマスラブ（蓄熱式床暖房システム）を導入していて、冬は陽だまりのような暖かさを実現しています。

また全指導室に空気清浄機エアドックを設置し、ウイルスレベルの微細粒子まで除去することで、感染症の拡大予防にも配慮しています。



インクルーシブな子育てを応援する

社会福祉法人愛の園福祉会

Founded in 1971